



# エコアクション21



## 環境活動レポート

発行：2007年 3月 7日

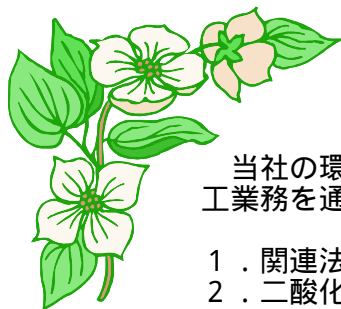
### インデックス

- 1．環境方針
- 2．事業者活動の概要
- 3．環境への負荷の低減目標とその実績
- 4．目標に対する計画と具体的な取組
- 5．環境活動の取組結果と評価
- 6．環境関連法規への違反



株式会社ニッシン

## 1. 環境方針



# 環境方針



当社の環境マネジメントシステムの継続的な推進と改善は、板金加工業務を通じて次に示す活動を最優先事業活動の一つとして行います。

1. 関連法規、法令、規則、条例、協定及びその他合意事項を遵守する。
2. 二酸化炭素削減・廃棄物削減・上水の削減に対して目的・目標を定め、継続的改善を実施する事により環境マネジメントシステムの向上を図る。
3. 資源リサイクルの推進。
4. 環境品質を保证する為に使用禁止物質の削減及び管理の徹底。
5. 環境マネジメント活動に、“品質管理”と“5S”活動をリンクさせながら本システムの効率的改善を図る。
6. 全社員がこの方針を理解し、行動する。

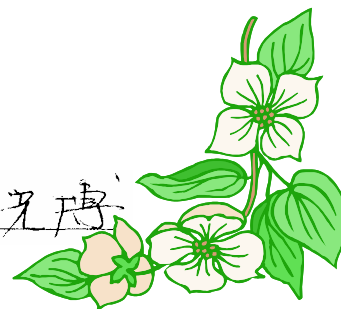
《この環境方針は社内外に公表します》

2006年 8月 1日

代表取締役

渋谷 光博

株式会社ニッシン



## 2. 事業者活動の概要

### 【1】 事業者名及び代表者名

カブシキガイシャ ニッシン  
株式会社ニッシン  
シブヤ ミツヒロ  
代表取締役社長 渋谷 光博

### 【2】 事業所住所

〒357-0047 埼玉県飯能市落合500-1

### 【3】 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者	環境管理責任者	手塚 文紀
担当者	環境管理事務局	梅澤 重隆
連絡先	電話番号	042-974-1161
	FAX 番号	042-974-1705
	E-mail	nisshin@maple.ocn.ne.jp
	H.P URL	http://www.nisshin-corp.com/

### 【4】 事業の内容

精密板金加工、塗装、組立（OA機器、医療用機器等の製造）

### 【5】 当社の5S活動及び環境保全活動の経緯

1996年	7月	体質改善5S活動スタート
2002年	3月	株式会社リコーグリーン調達ガイドライン認証取得
2003年	5月	ソニー株式会社グリーンパートナー認証取得
2006年	3月	エコアクション21認証取得
2007年		株式会社リコーCMSガイドライン認証取得予定

### 【6】 事業の規模

創業	昭和44年	5月
売上高	5億7千万円	
従業員数	57名	

### 3. 環境への負荷低減の目的・目標とその実績

【1】 36期を基準とし、37期より新たに立てた3年間の目標。尚、上水及び廃シ  
ンナーについては備考欄を参考。

NO.	環境負荷項目		単位	36期基準	37期計画	38期計画	39期計画	備考
1	資源投入	北用紙	枚	92,109	目標1%減 91,197	目標3%減 89,426	目標5%減 87,722	
2		マグネットビット	本	400	目標1%減 396	目標3%減 388	目標5%減 380	
3		フィルムテープ	巻	420	目標1%減 415	目標3%減 407	目標5%減 400	
4		使用禁止物質	%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	客先要求事項に対する実績数値
5	投入資源	上水	m <sup>3</sup>		基準期 3,026	目標1%減 2,996	目標2%減 2,966	上水は新規設備導入により37期(3,026t)基準から3%減の活動
6	炭素酸化	電力(Co <sup>2</sup> )	kwh	481,578	目標1%減 476,809	目標5%減 467,551	目標5%減 458,645	Co2削減の為のテーマ
7	廃棄物排出	廃棄物(全体)	kg	2,930	目標1%減 2,900	目標3%減 2,844	目標5%減 2,790	
8		金属くず(スクラップ)	kg	167,963	目標1%減 166,300	目標3%減 163,070	目標5%減 159,964	
9		金属くず(異常発生品)	kg	8,840	目標1%減 8,752	目標3%減 8,582	目標5%減 8,419	

上記の表は36期(2003/8~2004/7)37期(2004/8~2005/7)38期(2005/8~2006/7)39期(2006/8~2007/7)を表す。

【2】 39期より目的・目標追加項目

NO.	環境負荷項目		単位	38期基準	39期計画	40期計画	41期計画	備考
10	廃棄物排出	金属くず(溶接異常発生品)	kg	データ無	現状把握	目標3%減	目標5%減	38期はデータが無い為39期内にデータ取りを行う
11		金属くず(塗装異常発生品)	kg	データ無	現状把握	目標3%減	目標5%減	38期はデータが無い為39期内にデータ取りを行う

上記の表は38期(2005/8~2006/7)39期(2006/8~2007/7)40期(2007/8~2008/7)41期(2008/8~2009/7)を表す。

【3】 37期、38期、39期の目的・目標の実績は次の通りである。

NO.	環境負荷項目		I:投入 O:排出	単位	37期	38期	39期	備考
1	資源投入	北用紙	I	枚	81,890 12.5%減	62,000 32%減	28,500 25%減	
2		マグネットビット	I	本	400 0%	1,270 317.5%増	800 479.0%増	
3		フィルムテープ	I	巻	270 35.7%減	480 12.5%増	90 48.6%減	
4		使用禁止物質	I	%	0% 要求達成	0% 要求達成	0% 要求達成	
5	投入資源	上水	I	m <sup>3</sup>	3,026	2,345 22.5%減	968 23.2%減	上水は新規設備導入により38期より削減テーマとして掲げる。
6	炭素酸化	電力(Co <sup>2</sup> )	I	kwh	477,137 0.9%減	484,019 0.5%増	195,855 2.4%減	Co2削減の為
7	廃棄物	廃棄物(全体)	O	kg	2,200 33.2%減	1,360 53.6%減	700 42.7%減	
8		金属くず(スクラップ)	O	kg	145,387 15.5%減	161,737 3.7%減	62,663 10.5%減	
9		金属くず(異常発生品)	O	kg	7,236 15.5%減	8,423 4.7%減	4,866 33.0%増	
10	排出	金属くず(溶接異常発生品)	O	kg			現状把握 34	38期はデータが無い為39期内にデータ取りを行う
11		金属くず(再塗装異常発生品)	O	kg			現状把握 3	38期はデータが無い為39期内にデータ取りを行う

上記の表は37期(2004/8~2005/7)38期(2005/8~2006/7)39期(2006/8~2006/12)を表す。  
目標値、実績値は基準期をベースとして計算しております。  
39期については現在実施中であり、中間の実績を掲載。

## 4. 目標に対する計画と具体的な取組

【1】 目的・目標を達成させる為の環境マネジメントプログラム(計画)は以下の通りである。

全社環境活動計画書

NO	環境負荷項目	環境目的	目標行動内容/実施事項	目標値			担当部門/責任者	手順書
				計	画	面		
1	電力消費量(Co2)の削減	36期基準 39期末5%減	1. 照明器具等の見直しと実行と実施 2. 現状把握をしての蛍光灯の撤去 3. 現状把握をしての蛍光灯の撤去	37期末1%	38期末3%	39期末5%	全部門	電力削減手順書
2	廃棄物の削減	36期基準 39期末5%減	1. 廃コピー用紙の再利用の徹底 2. 購入品等の廃棄物の再利用化 3. 廃棄物運搬頻度の削減	37期末1%	38期末3%	39期末5%	全部門	廃棄物削減手順書
3	上水の削減	37期基準 40期末5%減	1. 水道、蛇口、トイレの節水 2. 上水のリサイクルの推進 3. 使用メモリ対策の推進	38期末1%	39期末3%	40期末5%	全部門	上水削減手順書
4	使用禁止物質の削減・管理	客先要求事項による徹底管理	1. レベル1含有成分即時納入禁止 2. レベル1, 2含有成分即時納入禁止 3. レベル1, 2含有成分即時納入禁止	39期末即時	40期末100%	41期末100%	全部門	使用禁止物質削減・管理手順書
5	コピー用紙使用頻度の削減	36期基準 39期末5%減	1. コピー用紙の使用頻度の削減 2. 不要コピーの見直しと実行と実施 3. ペーパーレスへの移行検討と実行	37期末1%	38期末3%	39期末5%	事務所G	省資源手順書(コピー用紙)
6	スクラップの削減	36期基準 39期末5%減	1. ネスティングと抜きの見直し 2. 端材在庫の徹底管理 3. 材料購入の見直しと実行と実施	37期末1%	38期末3%	39期末5%	第一加工課 NCTG	スクラップ削減手順書
7	異常発生品スクラップの削減	36期基準 39期末5%減	1. 異常発生品の低減化 2. 異常発生品防止策の実施 3. スキルに対する見直しと実行と実施	37期末1%	38期末3%	39期末5%	第一加工課 ベンダーG (NCTG) (組立G)	異常発生品スクラップ削減手順書
8	各種異常発生品の削減	38期基準 41期末5%減	1. 異常発生品の現状把握 2. 異常発生品防止策の実施 3. スキルに対する見直しと実行と実施	39期末1%	40期末3%	41期末5%	第二加工課	各種異常発生品削減手順書
9	再塗装異常発生品の削減	38期基準 41期末5%減	1. 異常発生品の現状把握 2. 異常発生品防止策の実施 3. スキルに対する見直しと実行と実施	39期末1%	40期末3%	41期末5%	第三加工課 塗装G	再塗装異常発生品削減手順書
10	マグネット使用量の削減	36期基準 39期末5%減	1. 使用量低減化 2. 作業方法の改善 3. 使用頻度の見直しと実行と実施	37期末1%	38期末3%	39期末5%	第三加工課 組立G	マグネット削減手順書
11	フィラメント使用量の削減	36期基準 39期末5%減	1. 使用量低減化 2. 作業方法の改善 3. 使用頻度の見直しと実行と実施	37期末1%	38期末3%	39期末5%	第三加工課 組立G	フィラメント削減手順書

■ 実施実行、□ 維持

※ 1: 36期(2003年8月~2004年7月)、37期(2004年8月~2005年7月)、38期(2005年8月~2006年7月)、39期(2006年8月~2007年7月)、40期(2007年8月~2008年7月)、41期(2008年8月~2009年7月)を示す。

【2】 上記計画書を基に以下の通り取組を行う。

**電力(Co2)の削減** : 社内全体の照明等の使用は必要最低限の範囲とし、使用していない機械等のコンセントは差しっぱなししないようにする。又、必要ない照明については蛍光灯の撤去を行い、事務所の蛍光灯を吊り下げ式スイッチに変更。

**全体の廃棄物の削減** : コピー用紙の再利用徹底及びリサイクル化への推進を行う。

**上水の削減** : 水道等の利用は必要以上に利用しないで蛇口、トイレに節水装置等を設けるようにし、削減を行う。

**使用禁止物質の削減** : 客先要求事項により使用禁止物質使用をしない。

**コピー用紙の削減** : 必要最低限のコピー及びペーパーレスへの推進を行う。

**金属くず(スクラップ)** : 端材在庫管理として、低減の為に歩留率アップを行う。

**金属くず(異常発生品)** : 異常発生品防止の為に作業性、スキルアップ向上を行う。又、溶接、再塗装の異常発生品防止の強化を行う。

**マグネットの削減** : マグネット破損を避ける為の扱い上のスクラップ、使用頻度の見直し。

**フィラメントの削減** : テープの長さ和使用される製品の貼り場所の検討をし実施する。

【3】 毎週月曜日に環境・品質 / 5 S活動を行っており、その活動内の内容は環境目的・目標に対する取組と教育訓練及び事故及び緊急事態対応の訓練等の実施、品質についての話し合い及びスキルアップの勉強会、5 S（整理、整頓、清潔、清掃、躰）活動を行っている。

## 5. 環境活動の取組結果と評価

【1】 37期、38期、39期の評価は以下の通りである。

NO.	環境負荷項目		36期基準	37期		38期		39期		備考
				37期目標	37期評価	38期目標	38期評価	39期目標	39期評価	
1	資源投入	紙・用紙	92,109	目標1%減 91,197 12.5%減 81,890		目標3%減 89,426 32%減 62,000		目標5%減 87,722 25%減 28,500		
2		マグネットビット	400	目標1%減 396 0% 400		目標3%減 388 317.5%増 1,270		目標5%減 380 497.0%増 800		
3		フィラメンテープ	420	目標1%減 415 35.7%減 270		目標3%減 407 14.3%増 480		目標3%減 400 48.6%減 90		
4		使用禁止物質	含有率 0%	含有率 0% 要求達成 0%		含有率 0% 要求達成 0%		含有率 0% 要求達成 0%		
5	水資源投入	上水		基準期 3,026		目標1%減 2,996 22.5%減 2,345		目標3%減 2,966 23.2%減 968		新規設備導入により37期を基準
6	二酸化炭素	電力 (Co <sup>2</sup> )	481,578	目標1%減 476,809 0.9%減 477,137		目標3%減 467,551 0.5%増 484,019		目標5%減 458,645 2.4%減 195,855		Co2削減の為にテーマ
7	廃棄物排出	廃棄物 (全体)	2,930	目標1%減 2,900 33.2%減 2,200		目標3%減 2,844 46%減 1,360		目標5%減 2,790 42.7%減 700		
8		金属くず (スクラップ)	167,963	目標1%減 166,300 15.5%減 145,387		目標3%減 163,070 4%減 161,737		目標5%減 159,964 10.5%減 62,663		
9		金属くず (異常発生品)	8,840	目標1%減 8,752 15.5%減 7,236		目標3%減 8,582 4.7%減 8,423		目標5%減 8,419 33.0%増 4,866		
10		金属くず (溶接異常発生品)				基準期 データ無		現状把握 34		39期は現状把握の為評価無し
11	金属くず (再塗装異常発生品)				基準期 データ無		現状把握 3		39期は現状把握の為評価無し	

上記の表は37期 (2004/8~2005/7) 38期 (2005/8~2006/7) 39期 (2006/8~2006/12) を表す。

目標値、実績値は基準期をベースとして計算しております。

39期については現在実施中であり、実績内容は5ヶ月分 (2005/8~2005/12) の集計で掲載。

評価は次の通り。 : 削減されている : 理由により削減されている : 削減されていない

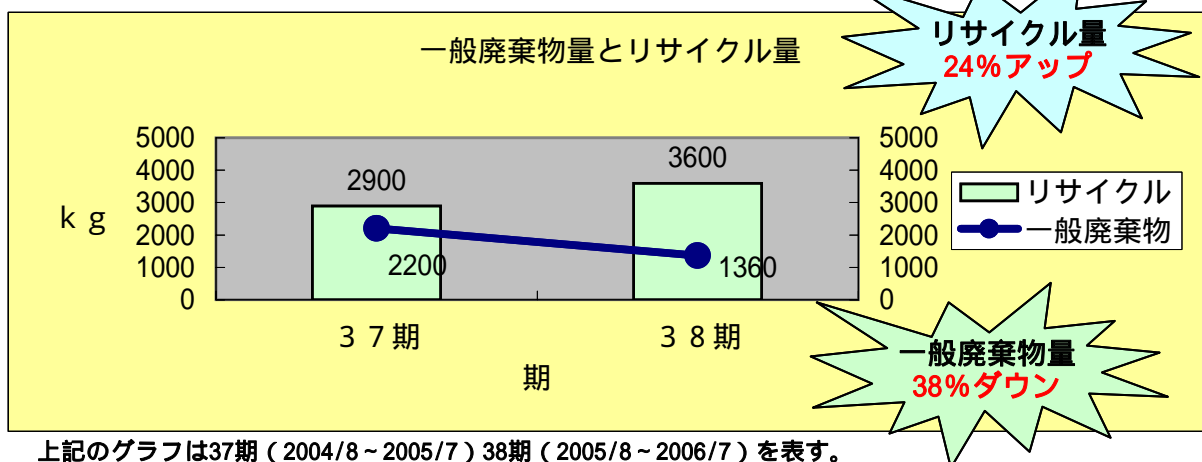
### 【2】 考察

38期 (2005/8~2006/7) の実績としては生産台数の増加により2. マグネットビット、3. フィラメンテープの使用頻度が増加した為目標達成が出来ませんでした。又、マグネットビットに関しましては前期同様取扱上のスキルアップを引続き行っております。EA21の活動から約1年半が経過し、2006年7月の環境管理総括者見直しにより2006年8月から方針変更及び組織の大幅な変更を行いました。現在39期 (2006/8~2006/12) では、すでにマグネットビットが大きく増加してしまっている為、今後の課題を今現在検討中である。9. 金属くず (異常発生品) は増加傾向にある為、発生分析を調査中であり原因追求をグループと行い増加をおさえる。

その他効果的に大きかったテーマについては以下の【3】の通りである。

【3】 改善及び主な活動の成果

リサイクルの推進：今までコピー用紙や封筒等紙類の廃棄物は市のクリーンセンターへ持ち込み処分を行っていた。環境方針によりリサイクルの推進により、紙類の廃棄物をリサイクル化にし37期（2004/8～2005/7）から38期（2005/7～2006/8）の推進の結果リサイクル量24%アップ、一般廃棄物量38%ダウンすることが出来ました。



環境・品質 / 5S活動：毎週月曜日朝 8：00～8：40まで環境・品質 / 5S活動を行っています。ここでは各グループで予定を決めて、5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）、教育訓練、緊急事態対応訓練、品質管理等を行っています。

活動前のリーダーミーティング



各グループ活動（事務所G法規制調査）



5S活動レベルアップ：毎月第1週目の水曜日に内部監査員と環境管理事務局で各グループを巡回し、異常発生させている場所等指摘し翌月の環境・品質 / 5S活動の時間の中で改善を行うようにしています。

改善前



改善後



改善前は箱の統一性が無く、表示もされていない為中の物が要る物なのか要らない物なのか判断出来ない事から異常と判断し指摘した。改善後は見栄えも綺麗で表示もきっちりされ必要な物のみを収納するように改善されている。

## 6 . 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

【1】 下記の通り自ら遵守状況をチェックし問題点がない事を確認しています。

環境関連法規項目		遵守結果	
法規制違反の有無	公害に関する法律	下水道法	2007年1月現在無し
		騒音規制法	2007年1月現在無し
		振動規制法	2007年1月現在無し
		悪臭防止法	2007年1月現在無し
	廃棄物・リサイクルに関する法律	循環型社会形成推進基本法	2007年1月現在無し
		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	2007年1月現在無し
		再生資源の利用の促進に関する法律	2007年1月現在無し
		使用済自動車の再資源化等に関する法律	2007年1月現在無し
	化学物質に関する法律	毒物及び劇物取締法	2007年1月現在無し
		消防法	2007年1月現在無し
		高圧ガス保安法	2007年1月現在無し
	その他の法律	労働安全衛生法	2007年1月現在無し
		粉塵障害防止規則	2007年1月現在無し
	条例	埼玉県環境保全条例	2007年1月現在無し
		飯能市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	2007年1月現在無し
		飯能市下水道条例	2007年1月現在無し
訴訟の有無	環境関連訴訟	2007年1月現在無し	

【2】 外部からの苦情、関連当局からの違反の指摘もありません。